

**ごっこコーナー：**5月、園での健康診断をきっかけに、“こどものもりくりにっく”がスタート。「お医者さんになってみたい！」と興味津々の子どもたち。白衣やエプロンに着替えると、「今日はどうしましたか？」「お腹が痛いんです…」「お熱を測りますね」などと、病院での経験を活かしてなりきっていました。中には「注射が怖いよ〜」という患者さんもありましたが、「痛くない注射だよ、すぐに終わっちゃうから大丈夫！」と、とても優しい言葉をかけて診察してくれる年長児のお医者さんの姿に心が温かくなりました。診察券には自分で名前を書いたり、一人で書くのが難しい子はお手伝いしてもらって書いたり、遊びの中で楽しく文字や数に親しむ経験もできました。受付では「お名前をどうぞ」「待合室でお待ち下さい」と責任を持って担当してくれる姿があったり、「病院ではお静かになって書いた方がいいんじゃない？」と提案してくれたり…子どもたち同士で協力し意見を出し合いながら遊びが発展していきました。これからも子どもたちの思いやりのある言動や気付きなどをたくさん引き出して周りの子たちにも良い刺激にしていかれることを願っています。

**ごっこコーナー…**新入の女の子が「どのドレスがいいかな」と迷っていると、「これがいんじゃない？」とコーディネートしてくれたのは年長のお姉さん。さらに、鏡の前で丁寧に髪をとかし、上手に三つ編みをしてくれました。優しくもらった子はきっとその経験が心に刻まれ、また他の子にも優しく接しようとする心が育まれていくのでしょうね。

**クッキングコーナー：**6月に入り、園児のおじいちゃんの畑にジャガイモ堀りに行きました。早速クッキングコーナーでもジャガイモ料理が始まりました。一つ一つ丁寧に洗い最初はゆでたジャガイモに塩やバターをつけて味わいました。「ほくほくしておいしい」「もっとたべたいな」という声も聞かれ、あっと言う間に食べてしまう姿がありました。更にジャガイモピザにしたりポテトサラダにして美味しく味わいました。6月下旬からは畑のトマトやきゅうり、いんげんなど夏野菜が食べ頃を向かえ、朝、子どもたちと収穫し、新鮮な野菜を包丁で切り味わいました。夏野菜では今まで以上に包丁を使う機会が増え、どうしたら上手く切れるのかと考えながら繰り返し経験することで少しずつ使い方も覚えてきた子どもたちです。野菜が苦手な子も自分で収穫したり料理をすることで挑戦している姿が見られました。夏期保育に入り、待ちに待ったかき氷やさんがオープンしました。「今日は何味かな？」と楽しみに食べにくる子、「かき氷やさんやりたい」と、ハッピーを着て張り切ってお手伝いをしてくれる子と、毎日人気のかき氷やさんです！今後子どもたちと旬の物を収穫し、美味しく味わってきたいと思います。

**クッキングコーナー…**朝、畑でトマトを収穫していると、「私もやりたい！」と年少児の女の子がお手伝いをしに来ました。収穫した物は包丁で切り、サラダを作りました。早速味見をしてみることにしましたが「トマトは苦手…」と言ってお友達にだけあげて自分は食べませんでした。そのうちに0歳児の妹がベビーカーに乗って見に来ました。「今日は私が作ったんだよ」とサラダを妹に見せていました。「お姉ちゃんすごいね、美味しそうだね」と妹に声をかけるとパクッとトマトを口に入れるお姉ちゃんの姿がありました。「おいしい！」「もう一個食べる」と苦手だったトマトを食べていました。自分で作ったということ挑戦してみようという気持ちになったのですね。お姉ちゃんの格好良さも妹に伝わったのではないかと思います。微笑ましい姿ですね。



**表現のコーナー：**大型積み木ではルールを守りながら異年齢の子どもたちが一緒に楽しんでいます。その中で、大きい子が小さい子に「〇〇すると危ないよ！」「積み木を重ねるのは2つまでだよ！」などと遊ぶ時のルールを優しく教えてあげる姿があります。遊んだ後は子どもたち同士で大きいものから順に積み木を組み合わせて丁寧に片付けています。とても上手です！



また、園庭の木陰では小さい子から大きい子までみんなで輪になり、夏ならではの「盆踊り」を楽しんできました。和太鼓を叩くのは難しく、子どもたちも初めは「ドンドンドン」と叩くだけでしたが、音楽をよく聞くと叩きやすい事やリズムの取り方を伝えると「ドンドンドン」や「ドンドコドン」などのリズムもとれるようになり、たくさんの子が踊りに合わせて叩く経験をしました。これからもいろいろな曲でダンスや演奏をしながら表現することの楽しさを味わってきたいと思います。

**表現のコーナー：**夏まつりも近づいたある日、園庭で盆踊りの曲が流れると静かに一人で輪の中に入り踊り始めたたんぼぼの女の子♪「太鼓、叩いてみる？」と聞くと少し考えて首を横に振り「いい…」と。そんな中、太鼓を叩きたい！とやって来ては楽しく叩いてる子たちへの姿をじっと見ながら踊っていたので、すみれのお姉さんから「やってみる？」と聞いてもらいパチを差し出してもらおうと「うん！」と。ちょっと恥ずかしそうに、でも笑顔で叩いている顔はとても満足気。すみれさんの優しいお誘い、そして、たんぼぼさんがまた一つの表現を楽しめたことに嬉しくなりました。

**自然のコーナー：**6月は、きれいに咲いたあじさいやスモークツリーを遊びの中にたくさん取り入れました。草花クッキングに入れたり、髪飾りにしたり、絵を描いて貼ったり…どの子も存分に楽しんでいました。また、ザリガニ釣りも始まりましたが、今年のザリガニは小さくとてもすばしっこく、釣るのにとて苦戦をしています。今後、もっとザリガニと触れ合えるよう、釣りをしていきたいです。雨がたくさん降った時には、カンを並べ「いい音だね〜！」と雨の音に耳を傾けるかわいらしい声もきかれました。虫が大好きな子どもたちは、園庭でたくさんのお虫との出会いを楽しんでいます。ダンゴムシやミミズ、そして、庭のクヌギやコナラの木に今年はカブト虫やクワガタ、ちょうちょやカナブンとたくさんのお虫たちが蜜を吸いに来ています。自然な昆虫博物館が庭にできています。子どもたちは沢山の虫との出会いに感動したり、発見をしていますので、休み前に「むしはっけんノート」を作りました。虫を見つけたら、場所や、虫の絵を記録するノートです。小さい子はなかなか字が書けず、難しいところはありますが、夏休みご家族で虫を見つけて、書いてください。休み明けに紹介し合いたいと思います。また、畑の野菜の生長も、どの子も楽しみにして、水やり当番さんとお手伝いの子たちは、時間になると、自分たちでやること考えて、率先して当番活動をしています。水あげはもちろん、野菜の生長に感動したり、収穫を楽しんだり、もう一つのお手伝いにも一生懸命です。自然のお知らせもノートにしっかりと書き、帰りには、みんなの前でハッキリと伝えることで人前で話すことに少しずつ慣れてきました。暑い夏ですが、こどものもりの自然の中で、目をキラキラさせながら学び、引き続き感動いっぱいのお会いを楽しんでいきたいと思っています。

**自然のコーナー…**自然のコーナーでは、色水を使ってジュース屋さんを楽しんでいます。園庭の真ん中では、盆踊りの音楽と太鼓の音が聞こえました。すると、Nちゃんが「本当のお祭りみたい！たくさんジュース作らなきゃ！」「いらっやいませ」と言って、赤や青や黄色の色水を混ぜて、色々な色を作り、ジュース屋さん



になりきっていました。また、7月の初めにセミが鳴きました。すると、朝登園してきた何人もの子どもたちが「せみの声が聞こえる！」と教えてくれました。子ども達は、遊びやこどものもりでの生活の中で、視覚や聴覚などを通して、季節を感じているのだと私自身も学びました。

**外あそびのコーナー：**6月に入り、年長児の「できたよのーと」が始まりました。「できたよのーと」は見開きで左側にはかけこや泥団子、右側にはうんていやなわとびなどの項目があり、クリアしたら子ども達が自分で一つ一つ色を塗っていきます。連日沢山の子が「せんせい見てね！」と意欲的に挑戦しています。2学期も子ども達の頑張る姿を大切に、大いに褒め自信へと繋げていきたいです。また泥団子作りコーナーは「できたよのーと」をきっかけに更に盛り上がりました。年長児に限らず年中少児、2歳児クラスの子も達も年上の子の真似をしながら楽しく泥団子に挑戦しています。始めはどろどろの土を触ることに少し抵抗があった子ども達も慣れてくると「冷たくて気持ちいい」という声が聞こえ、段々固くなっていく泥団子を大事に大事に持って布で磨く表情は真剣そのもので、何日もかけて根気よく一つのことを打ち込むパワーを感じることができました。今後は完成した泥団子を皆に見える所に飾ったり、紹介したりしながら、まだ、作ったことのない子たちへの刺激としながら、みんなで楽しんでいかれたらと思います。

最近ではシャボン玉遊びも始まりました。ストローで吹くシャボン玉や、金魚すくいを使ったポイに毛糸を巻いたものなどを使って吹き、風向きの変化にも興味を持ち、どの方向へ吹いたらよいか、吹き具合を工夫しながら、挑戦する子やまだシャボン玉を眺めて楽しんでいる子ども達です。これからどんどん遊びが広がっていくのを楽しみにしています。



**外あそびのコーナー…**連日泥団子作りにやってくる年長の男の子。段々と石のように固くなっていくのが嬉しい様子でした。このまま泥団子作りを楽しんでいくのかなと思いきや、地面に向かってその泥団子を落としたのです。しかしどれだけ落としても壊れない泥団子に男の子は「僕の泥団子落としても全然割れないよ、すごい」と目を輝かせていました。その後はさらに試してみたくなったのか少し力を加えて落としたところ、ついに割れてしまいました。思わずハッという顔をした男の子と私でしたが、すぐに「また作る」と意欲的。落としたらどうなるのか実験してみようとする発想が面白いと感じました。また壊れても、めげずに頑張る姿がさすが年長さん！でした。ガンバレ！！